

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 1 0 1
平成 19 年 12 月 20 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

イントラバケッツでクイズを作ろう

イントラバケッツは、ワードなどのオートシェイプのような簡単操作でホームページを作ることのできるアプリケーションです。

テキストボックス、画像枠(写真、お絵かき、スタンプ)、背景、音、添付ファイルなどの部品を組み合わせて、ページを作ります。

ホームページの形ですから、保存したものは、Internet Explore のようなブラウザで見ることができます。

印刷すると、A4 サイズになりますから、備えられている豊富なひな形(テンプレート)を使って、観察記録や絵日記など、様々な作品を作ることができます。

一つの作品がサイトの形を取り、99ページまでを含めることができるので、大きな作品作りも可能です。ページ間のハイパーリンク作成も、ドラッグ&ドロップで設定できますから、低学年でも楽にサイトを構成することができます。

あらかじめハイパーリンクを設定したひな形から作成を始めることもできます。

6年生では、卒業制作として、自己紹介・修学旅行・6年間の思い出・将来の夢、の4項目をまとめたホームページを作り、学年全部を1枚のCDに焼いたものを持ち帰る、という活動をこれで4年間続けていますが、昨年度からは、2年生などで、ハイパーリンクを使った ×クイズ作りを始めました。卒業制作とクイズは、パソコン室のインターネットトップページから参照することができます。

従来2年生では、「わたしのおススメ」というタイトルで、1ページを作り、お互いにそれを見合っで感想をメールで送り合う、という授業をしてきましたが、クイズ作りでイントラバケッツに慣れてからの方がよさそうだと思うようになり、おススメとメールはクイズのあと(3年生)に行うように考えています。

情報教育の立場からクイズ作りを解説すれば、まず、誰に向けてのクイズか、それによって、問題の書き方(表現)や問題の選び方が決まってきます。また、背景や言葉遣いなど、見る人に心地よい作品作りを心がけるように注意しています。クイズ(作品)をお互いにやってみる(見る)ことで、どういった作品が(こういった観点をふまえて)「いい」のかの判断基準も、子どもたちに身につけてほしいと思っています。

